

2017年8月4日(金)

2017年度 演習Ⅰ(46クラス・谷本ゼミ第18期生)内定者の課題レポートについて

谷本ゼミ第18期生に内定した学生は、演習開始前の自己啓発と予習を目的としてレポートの執筆を課題とします。下記の4冊の課題図書について各1冊につき1部、合計4部のレポートを執筆して下さい。レポートは2017年9月28日(木)3講目の第1回目の演習(ゼミ)にて提出していただきます。

なお、秋学期の演習では下記の文献を既に読み終えているものとしてゼミの運営を行います。

【課題図書】

- ① 斎藤 孝『読書力』岩波新書,2002年(700円+税)。
- ② 今野晴貴『ブラックバイト -学生が危ない-』岩波新書,2016年(820円+税)。
- ③ 大崎裕史『日本ラーメン秘史』日経プレミアムシリーズ,2011年(850円+税)。
- ④ 速水健朗『ラーメンと愛国』講談社現代新書,2011年(760円+税)。

【レポートについて】

課題： 各課題図書を読み、①その本から自分は何を学び、どのような感想を抱いたかについて自由に論じなさい。また、②なぜこの文献を課題図書に指定したのか演習担当者(谷本)の意図について推測しなさい。

用紙： パソコン・ワープロでA4判用紙を使用(手書き不可・片面印刷)。

余白部分： 上端30mm、下端30mm、右端30mm、左端30mmの余白をとること。

1頁の桁数と行数： 1行40桁(字)×36行(横書き・1ページは1,440字)。

ページ数： 課題図書1冊につきレポート1部、枚数は1枚程度(2枚以上になる場合は用紙の左上をステープラー(ホッチキス)で留めること)。

フォント： 文字種(フォント)は明朝体系を用い、文字の大きさは10.5ポイントとする。

表題： 1行目にタイトル(自由・中央揃え)、1行あけて3行目に学籍番号と氏名を記入し(右寄せ)、さらに1行あけて5行目から本文を書き始めること。

【注意事項】

- ・レポートの内容(論理展開)に応じて適切な段落分けを行うこと。また一文ごとに改行をするといった「行数の水増し」の様な書き方をしないこと。
- ・段落の冒頭は1字分のみ空白とすること。2文字分以上のスペースは不要。
- ・課題図書の冊数が多いため早めに取り組むこと。9月になってからでは間に合いません(少なくともまともなレポートは書けません)。

以下の文献はレポート作成の対象ではありませんが、夏期休暇期間に読んでおくこと今後の学習の一助になります。①は秋学期のゼミの授業の予習になります。②は日本の「ものづくり」の現状を知る上で有益です。③については課題図書④の内容をより深く理解する上で役に立ちます。④と⑤は学習スキル向上のため、谷本ゼミ第17期生の課題図書としてレポート作成の対象となっていました。

【推奨図書】

- ① 楠木 建『ストーリーとしての競争戦略 -優れた戦略の条件-』東洋経済新報社,2010年(2800円+税)。
- ② 藤本隆宏『現場から見上げる企業戦略論 -デジタル時代にも日本に勝機はある-』角川新書,2017年(920円+税)。
- ③ ジョージ・ソルト著、野下祥子訳『ラーメンの語られざる歴史』図書刊行会,2015年(2,200円+税)。
- ④ 小笠原喜康『新版 大学生のためのレポート・論文術』講談社現代新書,2009年(720円+税)。
- ⑤ 立花 隆『「知」のソフトウェア』講談社現代新書,1984年(720円+税)。

※ 担当教員(谷本)に何か質問・相談を直接したい場合、下記のアドレス宛にメールで連絡をお願いします。

E-Mail: atanimot@mail.doshisha.ac.jp

以下余白